豊平川安全利用検討会

設立趣意書

道都札幌の市街地を貫流する豊平川は、普段からさまざまなイベントやスポーツ、自然観察や魚釣りなど自然とのふれあいの場として多くの人々が集まり、盛んに利用されている。一方、豊平川は都市域にあって全国でも例がない急流河川であり、強いエネルギーを持った流れが生じる。こうした中、現状として豊平川では水難事故が多発している。

本来、河川は公共の利益や他人の行動を妨げない限り、自由使用が原則であり、安全確保も利用者自らの責任において行われるものである。しかし、実際には水難事故が多発していることから、床止・護岸ブロックなどの河川管理施設が、河川利用者にとって危険となりうる可能性があり、それらの危険性を出来る限り小さくすることも、河川管理者の取り組みのひとつと考えられる。

また、河川利用者の河川の危険性に対する認識が不十分なことも水難事故の要因の一つであり、河川の安全利用について啓発していくことも河川管理者として重要である。

本検討会は、このような背景を踏まえて、豊平川を対象として水難事故の分析および利用者の意識調査を行い、水難事故の発生を回避または軽減するための改善策を検討することを目的に設置する。